



教育理念（宝木小4つの宝）

やさしさ 勇気 喜び そして 夢

# タカラッキー

宝木小学校だより 第3号  
令和7年5月15日発行

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

（発行者 室田 和宏）

## イエローリボンでいじめゼロ強調月間！

5月は宇都宮市を挙げての“いじめゼロ強調月間”本校でも小さなイエローリボンシールを胸章に貼って、いじめゼロへの意識啓発を図るなど、次のような方針のもと、重点的に取組を展開しています。

○学校いじめ防止基本方針に基づき、全教職員が「いじめは絶対に許さない」という共通認識のもと、いじめ対策への取組を充実させ、いじめの根絶を目指す。

○児童一人一人に向き合うことで、いじめの早期発見早期対応を目指すとともに、児童にいじめをしない、させない、許さないという気持ちをもたせられるようにする。

「いじめ・いじわるアンケート」は年間4回の実施を計画しています。間もなく第1回目のアンケートが各学級で実施されますので、ご家庭でもお子様の相談に耳を傾けていただき、気になることがあれば大小にかかわらず担任までご連絡ください。

5月19日からは**教育相談（あのね相談）**を実施します。行事の合間をぬっての時間調整を図りながら、担任以外の教員で校内の見回り巡回指導をするなど、すべての児童の声に耳を傾けるために、全職員で協力して実施してまいります。

また、陽西地域学校園の**小中一貫教育の取組**として、児童・生徒指導の連絡会議を充実させています。7月7日に予定されている第1回連絡会議では、児童指導の担当、校長や旧6年生担任、市教育委員会の担当者などが中学校に一堂に会し、児童生徒指導と適応支援の充実に向けて、真剣に協議して参ります。

そして昨年度も触れましたが・・・

「いじめを見逃さない」から

「いじめられる子どもを守る」そして

「いじめをしない子どもを育てる」へ！

・・・いじめの衝動が起きる原因として、次のようなことが考えられるといわれています。

『①心理的ストレス ②集団内の異質なものへの嫌悪感情 ③妬みや嫉妬感情 ④遊び感覚やふざけ感覚 ⑤金銭などを得たいという利得感情⑥被害者となることへの回避感情 など』

ご家庭でも、いじめゼロ強調月間にあわせ、「お友だちに優しくしてる？嫌がることはしていない？」という声掛けの機会を増やしてみてください。一人一人の“困り感”にまなざしを向け、「いじめをしない子」に育てていきましょう。

<児童会の取組

1年生を迎える会

>



4つの宝の中で“喜び”を意識して臨んでいた子が一番多かったようです。